

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成24年11月8日
【四半期会計期間】	第30期第2四半期（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）
【会社名】	株式会社カネミツ
【英訳名】	KANEMITSU CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 金光 俊明
【本店の所在の場所】	兵庫県明石市大蔵本町20番26号
【電話番号】	078-911-6645
【事務連絡者氏名】	執行役員 業務本部副本部長 小田 一幸
【最寄りの連絡場所】	兵庫県明石市大蔵本町20番26号
【電話番号】	078-911-6645
【事務連絡者氏名】	執行役員 業務本部副本部長 小田 一幸
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第29期 第2四半期 連結累計期間	第30期 第2四半期 連結累計期間	第29期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高 (千円)	2,916,559	3,387,492	6,164,040
経常利益 (千円)	114,718	246,178	307,638
四半期(当期)純利益 (千円)	84,982	242,012	173,119
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	35,291	234,038	105,884
純資産額 (千円)	5,400,086	5,635,801	5,437,410
総資産額 (千円)	8,026,151	8,431,888	8,528,650
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	16.61	47.32	33.85
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	66.0	65.5	62.6
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	146,531	276,538	483,369
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	351,008	237,323	606,523
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	158,641	168,737	100,904
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	1,166,015	1,157,339	1,278,936

回次	第29期 第2四半期 連結会計期間	第30期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	10.31	15.00

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び連結子会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動は次のとおりであります。

平成24年7月2日にインド共和国にJBM Kanemitsu Pulleys Private Limited(関連会社)を設立しました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要に支えられ回復を続けてきましたが、海外経済の減速を受けて、足踏み状態になりました。

自動車業界におきましては、エコカー補助金の再開で国内販売が好調に推移しましたが、補助金が終了した9月には、販売台数が前年同月比減少に転じました。

一方、9月は輸出も振るわず、同月の国内生産台数は1年ぶりに前年実績を割り込み、先行き不透明感が増してきました。

このような状況のもと、当社グループの売上高は3,387百万円（対前年同四半期470百万円の16.1%増加）となりました。利益面では、営業利益274百万円（対前年同四半期150百万円の121.4%増加）、経常利益246百万円（対前年同四半期131百万円の114.6%増加）、四半期純利益242百万円（対前年同四半期157百万円の184.8%増加）となりました。

セグメント別では、日本は売上高2,646百万円（対前年同四半期268百万円の11.3%増加）、営業利益141百万円（対前年同四半期103百万円の279.1%増加）となりました。タイ現地法人は売上高660百万円（対前年同四半期156百万円の31.0%増加）、営業利益108百万円（対前年同四半期5百万円の5.6%増加）となり、中国現地法人は売上高209百万円（対前年同四半期117百万円の127.6%増加）、営業利益13百万円（前年同四半期は営業損失17百万円）となりました。

当第2四半期連結会計期間末における総資産は8,431百万円となり、前連結会計年度末に比べ96百万円の減少となりました。流動資産は193百万円減少しましたが、主として現金及び預金の減少121百万円、仕掛品の減少41百万円等によるものであります。固定資産は96百万円増加しましたが、主として機械装置及び運搬具の増加157百万円、投資有価証券の減少42百万円等によるものであります。

負債は2,796百万円となり、295百万円減少しました。流動負債は49百万円減少しましたが、主として支払手形及び買掛金の減少91百万円、賞与引当金の増加24百万円等によるものであります。固定負債は245百万円減少しましたが、主として長期未払金の減少147百万円、長期借入金の減少51百万円、社債の減少30百万円等によるものであります。

純資産は5,635百万円となり、198百万円増加となりましたが、主として利益剰余金の増加208百万円、その他有価証券評価差額金の減少26百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は65.5%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,157百万円と、前連結会計年度末と比べ、121百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は276百万円（対前年同四半期増加率88.7%）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益265百万円（対前年同四半期増加率131.1%）、減価償却費166百万円（対前年同四半期減少率3.6%）、仕入債務の減少額92百万円（対前年同四半期増加率17.4%）、利息の支払額17百万円（対前年同四半期増加率16.2%）、法人税等の支払額22百万円（対前年同四半期減少率79.2%）となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は237百万円(対前年同四半期減少率32.4%)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出297百万円(対前年同四半期減少率15.2%)、保険積立金の解約による収入76百万円(前年同四半期はありません)となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は168百万円(対前年同四半期増加率6.4%)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出89百万円(対前年同四半期減少率1.6%)、社債の償還による支出30百万円(対前年同四半期減少率57.1%)、配当金の支払額33百万円(対前年同四半期増加率0.5%)となったことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は72百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	17,000,000
計	17,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	5,119,477	5,119,477	大阪証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100株 であります。
計	5,119,477	5,119,477	-	-

(注) 普通株式は完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金 増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	-	5,119	-	551,099	-	445,219

(6)【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
カネミツ従業員持株会	兵庫県明石市大蔵本町20 - 26	647,860	12.65
大阪中小企業投資育成株式会社	大阪市北区中之島3丁目3 - 23	380,640	7.44
金光 俊明	神戸市垂水区	328,457	6.42
金光 之夫	神戸市垂水区	292,740	5.72
金光 正弘	神戸市垂水区	202,500	3.96
バンドー化学株式会社	神戸市中央区港島南町4丁目6 - 6	141,220	2.76
金光 秀治	神戸市西区	139,900	2.73
明治安田生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内2丁目1 - 1	136,340	2.66
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1丁目6 - 6 日本生命証券管理部内	136,340	2.66
JFEスチール株式会社	東京都千代田区内幸町2丁目2 - 3 日比谷国際ビル	109,220	2.13
計	-	2,515,217	49.13

(7)【議決権の状況】
【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 自己株式 6,100	-	単元株式数100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,111,800	51,118	同上
単元未満株式	普通株式 1,577	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	5,119,477	-	-
総株主の議決権	-	51,118	-

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式57株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社カネミツ	兵庫県明石市 大蔵本町20-26	6,100	-	6,100	0.12
計	-	6,100	-	6,100	0.12

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,278,936	1,157,339
受取手形及び売掛金	1,732,550	1,730,613
商品及び製品	43,784	48,109
仕掛品	354,464	313,203
原材料及び貯蔵品	77,272	82,362
繰延税金資産	59,025	62,575
その他	61,199	19,549
流動資産合計	3,607,233	3,413,753
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,971,747	1,977,669
減価償却累計額	1,046,278	1,066,705
建物及び構築物(純額)	925,468	910,964
機械装置及び運搬具	5,057,061	5,288,428
減価償却累計額	4,091,262	4,165,094
機械装置及び運搬具(純額)	965,798	1,123,333
工具、器具及び備品	555,688	581,419
減価償却累計額	461,164	480,539
工具、器具及び備品(純額)	94,524	100,880
土地	2,006,661	2,007,210
建設仮勘定	333,885	353,023
有形固定資産合計	4,326,338	4,495,413
無形固定資産	76,953	75,069
投資その他の資産		
投資有価証券	378,859	336,425
関係会社株式	-	12,214
その他	139,265	99,011
投資その他の資産合計	518,124	447,651
固定資産合計	4,921,417	5,018,135
資産合計	8,528,650	8,431,888

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	952,744	861,055
短期借入金	600,746	578,988
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	146,259	109,077
未払法人税等	21,000	15,356
賞与引当金	125,091	149,602
役員賞与引当金	24,000	12,000
その他	429,457	523,721
流動負債合計	2,359,300	2,309,801
固定負債		
社債	40,000	10,000
長期借入金	147,707	96,341
長期未払金	193,834	46,380
繰延税金負債	35,403	27,691
退職給付引当金	252,581	254,364
その他	62,412	51,508
固定負債合計	731,939	486,285
負債合計	3,091,240	2,796,087
純資産の部		
株主資本		
資本金	551,099	551,099
資本剰余金	445,219	445,219
利益剰余金	4,469,593	4,678,368
自己株式	6,548	6,592
株主資本合計	5,459,364	5,668,095
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78,152	51,950
為替換算調整勘定	200,417	193,397
その他の包括利益累計額合計	122,264	141,447
少数株主持分	100,311	109,152
純資産合計	5,437,410	5,635,801
負債純資産合計	8,528,650	8,431,888

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	2,916,559	3,387,492
売上原価	2,285,637	2,554,131
売上総利益	630,922	833,361
販売費及び一般管理費	506,887	558,794
営業利益	124,034	274,566
営業外収益		
受取利息	650	1,098
受取配当金	2,872	3,150
助成金収入	12,559	2,592
その他	1,933	3,627
営業外収益合計	18,015	10,468
営業外費用		
支払利息	16,688	17,785
為替差損	10,600	20,976
その他	42	95
営業外費用合計	27,331	38,857
経常利益	114,718	246,178
特別利益		
固定資産売却益	234	9
投資有価証券売却益	420	-
保険解約返戻金	-	34,742
特別利益合計	654	34,752
特別損失		
固定資産売却損	21	281
固定資産除却損	362	1,964
投資有価証券売却損	263	-
投資有価証券評価損	-	13,542
特別損失合計	647	15,787
税金等調整前四半期純利益	114,725	265,143
法人税、住民税及び事業税	7,663	15,971
法人税等調整額	12,196	3,446
法人税等合計	19,860	12,524
少数株主損益調整前四半期純利益	94,865	252,618
少数株主利益	9,882	10,605
四半期純利益	84,982	242,012

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	94,865	252,618
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35,308	26,202
為替換算調整勘定	24,264	7,622
その他の包括利益合計	59,573	18,579
四半期包括利益	35,291	234,038
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,003	222,830
少数株主に係る四半期包括利益	7,288	11,208

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	114,725	265,143
減価償却費	172,944	166,711
賞与引当金の増減額(は減少)	17,176	25,113
役員賞与引当金の増減額(は減少)	12,000	12,000
退職給付引当金の増減額(は減少)	3,124	1,783
受取利息及び受取配当金	3,523	4,248
支払利息	16,688	17,785
為替差損益(は益)	134	1,397
固定資産売却損益(は益)	213	271
投資有価証券売却損益(は益)	156	-
投資有価証券評価損益(は益)	-	13,542
固定資産除却損	362	1,964
保険解約損益(は益)	-	34,742
売上債権の増減額(は増加)	31,421	2,017
たな卸資産の増減額(は増加)	12,674	33,776
仕入債務の増減額(は減少)	78,467	92,103
その他	34,476	72,580
小計	264,146	311,036
利息及び配当金の受取額	3,523	4,238
利息の支払額	14,928	17,349
法人税等の支払額	106,259	22,118
法人税等の還付額	49	731
営業活動によるキャッシュ・フロー	146,531	276,538
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	351,165	297,645
有形固定資産の売却による収入	304	294
無形固定資産の取得による支出	2,913	539
投資有価証券の取得による支出	5,337	5,426
投資有価証券の売却による収入	6,771	-
関係会社株式の取得による支出	-	12,214
保険積立金の解約による収入	-	76,298
その他	1,333	1,909
投資活動によるキャッシュ・フロー	351,008	237,323
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	52,355	30,358
長期借入れによる収入	1,428	-
長期借入金の返済による支出	91,149	89,723
社債の償還による支出	70,000	30,000
自己株式の取得による支出	13	43
リース債務の返済による支出	15,507	9,681
配当金の支払額	33,262	33,445
少数株主への配当金の支払額	2,493	2,367
その他	-	26,881
財務活動によるキャッシュ・フロー	158,641	168,737
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,140	7,924
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	373,258	121,597
現金及び現金同等物の期首残高	1,539,274	1,278,936
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,166,015	1,157,339

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結会計期間において、JBM Kanemitsu Pulleys Private Limited（関連会社）を設立しましたが、重要性が乏しいため、持分法適用の範囲から除外しております。

【会計方針の変更】

（減価償却方法の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
給与及び手当	150,221千円	160,446千円
賞与引当金繰入額	43,742	40,371
役員賞与引当金繰入額	12,000	12,000

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	1,166,015千円	1,157,339千円
現金及び現金同等物	1,166,015	1,157,339

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	33,238千円	6.50円	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年10月31日 取締役会	普通株式	33,237千円	6.50円	平成23年9月30日	平成23年12月5日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月27日 定時株主総会	普通株式	33,237千円	6.50円	平成24年3月31日	平成24年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月8日 取締役会	普通株式	35,793千円	7.00円	平成24年9月30日	平成24年12月5日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	タイ	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,326,490	498,454	91,615	2,916,559	-	2,916,559
セグメント間の内部売上高又は振替高	51,368	5,537	317	57,223	57,223	-
計	2,377,858	503,991	91,932	2,973,783	57,223	2,916,559
セグメント利益又は損失 ()	37,253	102,930	17,915	122,268	1,766	124,034

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額1,766千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用18,009千円及び報告セグメント間の取引の相殺消去等19,775千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	タイ	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,537,966	643,186	206,339	3,387,492	-	3,387,492
セグメント間の内部売上高又は振替高	108,574	17,106	2,932	128,612	128,612	-
計	2,646,541	660,292	209,271	3,516,105	128,612	3,387,492
セグメント利益	141,228	108,705	13,167	263,101	11,465	274,566

(注)1. セグメント利益の調整額11,465千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用18,597千円及び報告セグメント間の取引の相殺消去等30,062千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	16円61銭	47円32銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	84,982	242,012
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	84,982	242,012
普通株式の期中平均株式数(千株)	5,113	5,113

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成24年11月8日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額・・・・・・・・・・35,793千円

(ロ) 1株当たりの金額・・・・・・・・・・7円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・・平成24年12月5日

(注) 平成24年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月5日

株式会社カネミツ
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 片岡 茂彦 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 西方 実 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社カネミツの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社カネミツ及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。